

われら

◎おくいずもん

読み語りグループ

「おはなしトロッコ」

町内の小中学校や幼児園では主に朝の時間に、各地区の保護者やボランティアによって読み語りが行われています。もともと横田や阿



朝読まれた本を手に

(おはなしトロッコ)の皆さん

井、三成などの保護者により始まり、今では町内全幼小中に広がっています。

三成小学校では、読み語りグループ「おはなしトロッコ」さんが毎週火曜日朝に読み語りをされています。

卒業時には、6年間で読まれた本(200冊超)にのぼるとのこと！全ての題名が入った記念品を人ひとりに渡されるそうです。

「読み手が選んだ様々な本に出会い、子どもたちのわくわくとした表情や、読み手と子どもたちが作る空間の心地よさが魅力です。」と代表の飯國淳子さんは話されていました。

読み手は老若男女問わず、同じ本でも読む人によって雰囲気がつたく変わるのも、子どもたちにとって読み語りの魅力のようです。休み時間に読まれた本の作者の違う作品や同じテーマの本を借りに来る姿も。

みなさんも家庭や、あるいはグループに参加して学校で、読み語りをしてみませんか。

切り取り線

郵便はがき

6 9 0 8 7 9 0

579

料金受取人払郵便

松江中央局
承認

1884

差出有効期間
平成29年10月
19日まで

奥出雲町横田 1037

奥出雲町議会
議会広報特別委員会 行



切り取り線

編集後記

米の収穫期、田んぼが乾かず収穫機械が能力を発揮できない中、稲作農家はそれぞれ知恵を絞って刈り取りし、出穂を終えました。多くの田んぼは荒れています。また来年はいつものように爽やかな水田に戻します。

政治では、安倍内閣が違憲立法、「戦争法」を強行成立させました。しかし国会高野会で、全国津々浦々で国民は歴史的な運動でこたえました。明るい未来をひらく新しい力の芽は生まれます。

愛に抱かれた人間の尊厳のある生活を、住み慣れた地域社会で営めるようにすることが政策です。地方が衰退した原因の反省に立つことにより、地方再生は可能となります。

地方自治体としては「地方創生」事業を主体的に利用して、住民と地域の利益を増進させることが必要です。

(川西明徳)



農家の写真

稲刈りの風景(佐白地内荒神社付近)

この秋珍しく晴れあがった空の色「青」稲穂の「黄」コンパインの「赤」、そのコントラストの艶やかさに思わずシャッターを切りました。付近に「カンナ」の花も赤い色を競っていました。そこは荒神社の隣の園地で、付近に博物館、温泉「長者の湯」もあり地区民のシンボリックな場所・憩いの場所でもあります。